

第 7 回 情報関連の授業公開キャラバン

会場校	大阪信愛女学院中・高等学校		
授業者	皮田 佳美	担当教科	情報・高校物理・中学理科
	高木 美帆	担当教科	情報・高校生物
授業名	高校3年生・選択教科 < 情報 >		
教室	パソコン教室（高校校舎7階・学院メディアセンタ）		
授業日程	平成14年5月1日（水）5・6限（1時15分～3時5分）		
本時の目標	情報の伝達する提示方法として、文字によるものがある。ワ・プロソフト（Word）を使って文字の色や大きさ・フォントなど自由に変えて、受け手への印象の与え方がどのように違ってくるのか学習する。		
評価の観点	今までの学習をもとに、内容にどのような工夫がされているか。自分史を作るにあたって、受け手を意識して、収集してきた情報をどれだけ工夫をして伝えられるか。		
留意点	機器の使い方や、ソフトウェアの使用方法だけに深入りしないようにする。目的は何かを確認して、今まで学んできた方法で各自で工夫させる。なかなか進まない生徒には、ヒントを与え、ひとつひとつ考えさせて自分の「自分史」を作成させる。		
学 習 の 展 開			
時間配分	授 業 計 画		
[5限目] 前回の復習 (25分)	前回まで、Wordの基本操作をした。文字入力・変換、文字装飾、表の挿入などの練習をしてきたが、表の作成が途中で終わったため、この時間の前半にサンプルである「キャンプツア - のお知らせ」を作成する。		
導 入 (25分)	進路において自己推薦など、自分のことを知ると便利なことがある。そのためとまた、今までの学習してきたことの確認を兼ねて「自分史」を作成する。昨年の生徒の「自分史」の作品を掲示し、参考にしてオリジナルな作品を作る。 ・昨年の生徒の作品から、内容の工夫についてアドバイスをする。		
[6限時] 展 開 (40分)	「自分史」を作るための作業を行う。		
ま と め (10分)	次の授業も「自分史」を作成する。 次の授業までに、身近な周りの状況だけでなく、社会的な背景や事件などの社会情勢なども準備として調べておく。それを次回に組み込むと第三者にわかり易い「自分史」になるのではないか。		